

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

学校名	<b>佐賀県立三養基高等学校</b>
1 前年度 評価結果の概要	学校評価アンケートにおいて、いくつかの項目で生徒・保護者と職員との評価に差があった。その差が解消されるよう、改善すべきところは改善を図っていききたい。 前年度は「100周年記念式典」があり、生徒の母校への愛着が高まった。今後はこの意識を継続させていきたい。ひいてはそれがふるさと佐賀への思い、心の教育へとつながっていくと考える。
2 学校教育目標	平和な国家及び社会に有為の人材を育成するため、校訓「質実剛健」のもと、自主自律の精神の涵養をとおして、知・徳・体の調和のとれた教育を目指す。
3 本年度の重点目標	① 自主自律と相互尊重の精神を備えた生徒の育成 ② 授業の工夫・改善と学習課題の精選をとおした生徒の学習の向上 ③ 保護者、地域との連携の強化

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○家庭学習の充実	○家庭学習2時間以上の生徒を90%以上とする。	・日目の記録を用いて日目の生活リズムを本人および担任で共有し、学習習慣の定着を図る。 ・学習習慣の定着が見られない生徒には面談などを適宜行う。 ・学年集会等の機会を利用して学習の必要性について話し、生徒の学習意識を喚起する。
	○進路意識の啓発と進路希望の達成	○国公立大学合格者50名、近隣有名私立大学合格者100名を目指す。	・各学年で進路講演会を実施する。 ・模試分析会(各学期1回)、進路検討会(3年3回、1・2年)を実施し、職員間での情報共有と改善策の検討を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育全体計画及び人権・同和教育年間指導計画に基づいて授業や指導を行った教員90%以上を目指す。	・各教科、特別活動、総合的な学習、講演会、読書、清掃活動、地域社会との関わりなど、あらゆる機会をとらえて心の教育を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ誘発の原因となるSNSの利用について、90%以上の生徒が適切な行動をとれるようにする	・防犯講話や適宜集会等で注意喚起を促し、SNSの利用の危険性について説明し、いじめ誘発等の原因づくりや加害者とならないための予防的対応を行う
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動を推進する。	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上	・「佐賀を誇りに思う教育推進事業」を利用して講師を招聘し、講演会を実施することで、佐賀県について理解を深める。 ・年間を通して定期的に「佐賀語り」を読む時間を「朝読書の時間」に設け、総合的な探究の時間に地域課題研究を行うことで、佐賀の魅力について学ぶ。
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・通学路での交通指導 ・生徒指導部主催の交通講話 ・登下校や部活時における危険の可能性についての注意喚起
	○健康的な生活習慣の形成	○受診勧告による受診率前年比5%増を目指す。	・学年集会やHR時における、健康についての意識向上を図る指導 ・受診、早期治療の重要性の周知
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤推進日を毎週月曜日に設定する。 ・部活動休養日は、年間平均週2回確保する。 ・持続可能性の観点から、校務分掌業務スリム化、効率化を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育